

放送大学 北海道同窓会会報

第34号

発行 放送大学北海道同窓会

発行責任者 宮崎 新吾

編集 広報担当

発行日 令和元(2019)年7月2日(火)

URL: <http://hhdoso.sakura.ne.jp>

会員数 236名(2019年6月30日現在)

「同窓生の皆様へ」

北海道学習センター所長 新田 孝彦

同窓生の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より大学と学習センターのさまざまな活動にご協力をいただいておりますことに対し、改めて感謝申し上げます。

放送大学は、創設以来、情報技術や情報環境の進展とともに授業を発信するメディアも、ラジオ、地上波テレビ、CSデジタル、BSデジタル、そしてインターネットへと拡大と変遷を遂げてきましたが、昨年10月からは放送はBSに集約され、しかもテレビは常時2チャンネル化が実現しました。BS231(BSキャンパスEx)では、放送大学の多様な資源を活用した一般視聴者向けの生涯学習番組や告知番組、資格関連の番組などのほか、評判の高かった過去の授業番組も放映しております。同窓生の皆様にとっては懐かしい授業があるかもしれません。これらの番組を利用して生涯学習への意欲をさらに高めていただき、周囲の方々にも勧めただければ大変ありがたく存じます。

さて、今年の三月には、北海道学習センター所属の加藤榮さんが101歳で四つ目のコースをご卒業なさいました。学位記授与式における学長式辞でも生涯学習の範を示していただいたということで真っ先に紹介されましたし、テレビや新聞でも取り上げられましたのでご存知の方もいらっしゃるかと思います。放送大学には、かつて全国的に有名になった「きんさん・ぎんさん」の「きんさん」が101歳で科目履修生として入学したという記録があるようですが、加藤さんは同じお歳ですでに四つのコースをご卒業ということですから、本当に敬服いたします。また、多くの方々に学ぶ勇気と感動を与えていただいたご功績にも心より感謝申し上げます。

ところで、例年同じことを申し上げておりますが、放送大学で教えたことのある多くの先生方が異口同音におっしゃるのは、学生の「学びに対する高い意欲や熱意」と、「困難や挫折を乗り越える気概」です。ここに放送大学生の最大公約数があるように思います。大学で学ぶ目的、取得した資格、選択したコースなどはそれぞれ違っているとしても、「ひとりがんばった」という体験ならばすべての卒業生が共有できるでしょう。この体験を結節点とした同窓生の結びつきは、放送大学の宝になります。より多くの卒業生が参加する同窓会に成長し、大学のよき応援団となって下さることを心より期待いたします。



就任のご挨拶

放送大学北海道同窓会
会長 宮崎新吾

同窓会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝で活躍の事と拝察いたします。

平成 31 (2019) 年度放送大学北海道同窓会定期総会において承認を頂き、令和元年 5 月より沖野前会長の後を受けて会長(2 度目)を務めさせていただくことになりました。平成 25 年 3 月卒業の宮崎新吾と申します。会員数 228 名を擁する放送大学北海道同窓会、そして歴代会長が築かれました伝統と歴史を考えますとその責務の重さに身の引き締まる思いが致します。同窓会活動 6 年と活動歴も比較的浅く浅学菲才な私で御座いますが、皆様のあたたかいご支援ご協力を頂き、母校と同窓会発展の為、微力ではありますが頑張る所存でございます。



放送大学來生新(きすぎ・しん)学長は、放送大学の学生について、「年齢層も職業も、人生経験も、学ぶ動機も、実にさまざまな人が集まって」と仰っております。また、來生学長はそのような素晴らしい学生に、これまでに行われてきた学術の基礎を支える知識としての「伝統的な教養」に加え、いま生きている状況の中で自分が抱えている問題をよりよく改善し、社会環境が変わる中、新しい時代に適応して生きていくための職業的な知識としての「新しい意味での教養教育」を、社会のニーズに合わせて提供すると仰っております。その結果、国内の大学の中でもきわめてリピーター率の高い、非常に魅力のある稀有の大学として放送大学の名を世に知らしめております。

放送大学がこのような特性をさらに進展させるためには、社会との連携が不可欠であり、同窓会組織と大学、そして各地で活躍されている同窓生などがお互いに連携を密にし、交流を深め合うことが大切であると考えます。大学からも、同窓会組織の充実に大きな期待が寄せられているところです。

具体的には、現在、札幌圏にやや偏っている会員を、旭川、函館、北見の各地域に幅を広げ、会員数の増加を図るとともに、研究発表会などの各種行事の充実を通じて同窓会を身近なもの感じてもらえるようにし、総会もより多くの会員に出席していただけるようなものにしたいと考えております。また、放送大学として取り組んでいる、社会に有用な「ユニークな活動を行っている」方々にも出会いたいと考えております。

このような目標の達成のためには、当会自身がより楽しくより魅力あるものにならなければなりません。今後とも、会員のみなさまの暖かいご支援をお願いしますとともに、ご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

また、これまで諸先輩方が培ってきた卒業生のネットワークと、新入学・再入学で現役学生となっている方々を融合させることができれば、新たな道が開け、同窓会活動のさらなる活性化へつなげることができると思っております。すなわち、卒業生だけのための同窓会ではなく、卒業生も現役学生も含めた、放送大学に所縁のある方すべての方々のための同窓会でありたいと願っております。

最後になりますが、2年間会長としてご尽力頂きました沖野前会長に感謝の意を表しますと共に、会員のみな様のより一層のお力添えを賜りますよう重ねてお願い申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。

退任にあたって

「応援ありがとうございました」

北海道同窓会副会長 沖野 茂夫

元気溌刺としてエネルギッシュな宮崎さんの後の会長職を引き受けた時の気概としては、野球でいえばホールドの役目を何とか果たしていこうというものでした。これまでの同窓会の活動を停滞させることなく、抱えている課題を若干でも改善できれば、登板責任は果たせるのではないかと考えていました。

でも力不足は否めずいくつかのピンチを招きましたが、何とか大きな失態もなく任期を終えることが出来ました。これも役員及び会員をはじめとする関係者の皆様のお蔭で、これも野球に例えるならばチームメイトの好守備に助けられた結果だと思っています。

任期中の一番のピンチは、昨年9月15・16日に札幌で実施した「第6回放送大学東北・北海道ブロック同窓会交流会」開催を前にして起こった、9月6日未明の地震によるインフラの停止でした。各同窓会との通信手段が絶たれ、交通機関の再開の目途も不明、宿泊先の安全も確認できないという状況でした。

しかし各同窓会が独自にこれらの障害を取り除き、さらに当会への励ましの連絡をいただくなどして、開催に漕ぎ着けることができました。まさに球場一体となつての応援の賜物と感じました。

以降のマウンドにはエースの宮崎さんに再登場いただきますが、引き続き会員の皆さんの同窓会への応援、これからもよろしくお願いいたします。



<平成 30 年度第2学期 学位記授与式の様子>



「お祝いの言葉」

放送大学北海道学習センター
客員教授 和 泉 光 則



卒業生のみなさん、大学院修了生のみなさん、おめでとうございます。

この卒業・修了はたくさんの苦勞と努力の賜物であります。みなさんそれぞれのお立場を抱えながら、今期何単位履修するか？卒業修了まであと何年かかるか？いつ勉強したらいいか？生活上の負担過多になっているんじゃないか？単位認定試験に合格できるか？卒業できないんじゃないか？諦めようか？など、大学卒業までの何年間、本当に様々なことを常に考えながらの学生生活だったと思います。

放送大学は、他の通学制の大学と比べて卒業しやすいように見えて、実は非常に卒業が難しい大学です。一般の大学では、学科の先生方は自分の学科の学生全員がどうやったら卒業できるのかについて一生懸命考え、「このままでは卒業できません」という警告までもらえたりします。部活の先輩が助言してくれたりもします。でも放送大学はすべて自己管理。卒業だって「何年かかってもいいのだから」の世界。こういう環境のなかで卒業を勝ち取るには、実はただならぬ心がけと努力、そして自己管理が必要。学位記はこれらが成し遂げられたことの証であり、学位記授与式はみなさんがこれらをしっかりとこなしたことを称える場、そうして祝う会は諸先輩がそれらの苦勞と努力を労い、卒業生修了生みんなで分かち合う特別な場なのです。

そういう私も、大学教員として化学を教えながら心理の勉強をして2012年3月に放送大学心理と教育のコースを卒業しました。今回は残念ながら東京で学会の研修を受けているために出席できませんが、みなさんの学生生活の苦勞と努力を思うと、私のあの頃の思い出が浮かびあがってきて、胸が熱くなります。みなさん、放送大学卒業・修了生であることを誇りに思ってください。胸をはって、修士・学士を名乗ってください。そして今この場で達成感を思いきり味わってください。

また、心理学的に言うと、達成感には喪失感も伴います。これまで苦勞してきたことを成し遂げたら、「こんな苦勞もう二度としたくない！」という思いと共に、なんとなく寂しさも感じてくるものです。もし、そんなものをこれから感じてきたら、継続しましょう。同窓会に入会して、後輩たちを見守ってみても良いでしょう。再入学してまた勉学に勤しむのも良いでしょう。もちろん、放送大学で培ったものを新たな場で活かしても良いでしょう。今味わっている満足感と充実感を、さらなる知的好奇心を、新たな夢に繋げていってください。

みなさまの達成したお顔を拝見できないのがとても残念ですが、私なりの気持ちを、ここに綴らせていただきました。みなさまのこれからのさらなるご活躍を祈念して、お祝いのメッセージとさせていただきます。本当におめでとうございます。

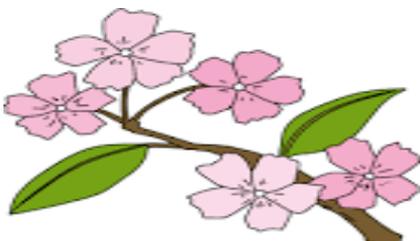
「人はなぜ大学に行くか」

元放送大学北海道学習センター
客員教授 長谷部 清

私が受験した頃は、大学に進学し、卒業すれば、立派な会社に就職できて、高給取りになると思われていた。理系で言えば、企業に勤めて、役立つ技術や知識の習得は、もちろん基礎が身につく、後の応用の場に有用な力になるからである。文系は、政治家あるいは大手の商社マン？

いまでは、大学も学部の数も大幅に増えて、専門分野は多様化し、幅広いニーズに対応できるようになった。羨ましい限りである。この現実には、学歴至上主義が、今日の社会を支配していて、大学への進学を後押ししているとも言われている。地方と都市部の生活環境も大いに変化し、労働環境も大きく変わっていることが原因の一つであろう。

地方に住む若者にとって、大学に進みたくてもままならず、簡単に進学はできない。このことが格差を推し進めていると考えられる。大学が都市部に集中し、地方に住む若者にとっては意味のない格差を強いられているのは、困ったことである。大学では、潤いのある生活を具現化でき、希望のある明るい社会が期待されると思われるようである。



先日、田原総一郎のテレビ放談で 萩本欽一は、人生 100 歳時代をどう生きるかを自問自答し、73 歳で佛教大学に進学し、これからの人生について学ぶことにしたとのこと。そこで感じたことは、勉強せよ、修行せよ、と悟った、と言う。自分で答えを探し求めることが大学で学ぶ大切さではなかろうかとも述べている。公理・定理を見出せない学問社会で正解を見出すのは、自分自身そのものであり、努力以外の何物でもない、と言っていた。

ボケない、老けない、年取らない。新しいことに立ち向かえば、明日はまた挑戦の場が私たちを迎えてくれることを楽しみに、新しい世界に向かって羽ばたいていこうではありませんか。大学に行くのは、そのためなのかも。ご卒業、おめでとうございます。



「卒業生の皆様、このたびはご卒業おめでとうございます」

北海道学習センター
事務長 柴田 珠江

卒業生の皆様、このたびはご卒業おめでとうございます。北海道学習センターの職員一同心よりお祝い申し上げます。

放送大学で学ばれている方は、仕事や家事、育児、介護等をしながら、あるいはご自身の病気と闘いながら等、様々な事情を抱えながら学習されている方が多いかと思えます。前回初めてこの「卒業を祝う会」に参加させていただき、卒業生の皆様の入学から卒業に至るまでのエピソードを聞かせていただきましたが、おひとりおひとりが本当に大変なご苦勞をされながらのご卒業で、聞いていて深く感動いたしました。



今回は、旭川サテライトスペースの学位記授与式に出席するため、冒頭のみ参加となり、卒業生の皆様のエピソードを聞くことが出来ず残念でしたが、本日ご卒業された皆様も、様々な困難を乗り越え、本日の卒業に辿り着かれたことと思います。皆様のご卒業に至るまでの努力を称え、心から敬意を表したいと思えます。

また、放送大学で学ばれている方には、高齢の方も多くいらっしゃいます。今回、北海道学習センターの卒業生の中には、101歳で四つ目のコースをご卒業された加藤榮さんがいらっしゃいました。

加藤さんは101歳とは思えないほど若々しく、学びに対する真摯な姿勢には敬服するばかりです。101歳になっても学び続ける加藤さんの姿から、学びに年齢は関係ないということを教えていただきましたし、また、放送大学で学ばれている方々の励みになったことと思えます。

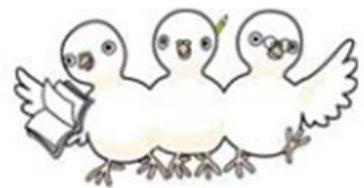
この加藤さんの功績を称え、北海道学習センター5階の視聴学習室・図書室内に加藤榮さんの資料展示コーナーを設けさせていただきましたので、ぜひ一度ご覧いただければと思います。そして、学び続けることの素晴らしさを感じていただけますと幸いです。

最後に、皆様の学びに対する強い意志で、放送大学卒業を成し遂げたことに自信と誇りを持っていただき、これからも学び続ける気持ちを持ち続けていただければと思います。放送大学への再度のご入学もお待ちしております。

皆様の今後のご活躍とご健勝を心よりお祈りいたします。

〈修了・卒業を祝う会の様子〉

〈学生サークルうたの会のみなさんからお祝いの歌のプレゼント〉



〈修了・卒業を祝う会記念写真〉



〈修了・卒業生より記念品贈呈の様子〉

修了生・卒業生を代表して竹内享子さんが
記念品の目録を贈呈しました
沖野会長が所長に代わり受け取りました



卒業・修了された皆様から寄せられた喜びの「ひとこと」です
(写真は学位記授与式と祝う会より・敬称は省略しました)

「第4回目の卒業にあたって」

《心理と教育コース》

札幌市南区 加藤 榮 (101歳)



今回（平成31年・2019年）の卒業を認定しますという通知を受けて、先ず感じたことは、今迄にない苦労を経て味わう大きな喜びでした。マァー！！良くここまで継続できたものだと心身の衰えをヒシヒシと感じる、本人の驚きと喜びでした。

小学校を卒業以来、家計を助けるために、只々働き続けて、何とか55才の定年（昭和47年・1972年）まで、働き続けて来た。この間、外務・内務の家事一切は専ら家内に委せ切り、仕事を通じて、働くことの楽しさ面白さを体験しながらの日々を振り返り、これで一丁揚りと、これからの悠々自適という様な気分には成り切れず、惰性のまま「中小企業診断士」という看板で、今迄同様、働き続ける始末となった。家内から年令だから、そろそろ仕事を辞めるようにしたら？と言われて、そうかな？とあたりを見回し、自らの途を決めることにしたのが、80才（平成9年・1997年）を過ぎてからであった。子供の頃から虚弱児童であったから、他人と競い合うと云うことはせず、消極的健康第一に心掛け、スポーツ、勝負事には無関心で、世渡りの社交的交友も不調法であった。



仕事から離れて、先ず感じたことは、生活時間の配分であった。

今までは仕事をこなす為の準備(勉強)という項目があったが、仕事なしとなれば、その準備の必要は無く、この項目を、どうして埋めるかが大問題であった。碁・将棋・マージャン・ゴルフ・パチンコ等に接する機会は避けていたので、その気にならない。ある時、目に入った「放送大学」に何となく興味を持ち、資料を取りよせ、大学卒業などという事は考えずに、目下問題になっている生活時間の「穴埋め」として、この途を選んだ。

選んだ科目は、科目履修生として今迄にのぞいた事のある「会計学」等を選び、最初の科目認定試験では、全く無対策で臨んだ処、その結果は意外にも④がとれた。これで続ける決心ができた。最初に失敗しないことが、以後の自信につながる。

こうして自信をつけて、次の段階に進んだ。“時間つぶし”のため継続して、何の思いもなく続けるうち、10年程経った。

何かの用事で、事務局を訪ねた折、大学当局から、100単位程の累積を見て「こんなに蓄っているのだから、科目履修生ではなく、全科履修生に切替えては？」とのアドバイスを受けた。

それではと「全科履修生」に切替えて大学卒業を目指すことにした。

ところが、卒業となれば取得単位の数だけでなく、その中身も問われることになる。先ず、「外国語6単位」などは、この年齢(90才)になってからでは、全く無理な話である。だが、決まりとあれば仕方ない、これをどうして切り抜けるか、知恵をしぼり「韓国語」を選んだが、NHKのラジオ講座などと併せて、2年間かかり、ようやく2年掛でこれはパスできた。後から思えば、もっと別の方法もあった様だが…。



こうして「科目履修生」となってから14年かかり、「全科履修生」となってから4年掛けて平成20年(2008年)91才で目出度く卒業できた。

卒業を目指したのならば“一丁揚り”であるが、元々“時間つぶし”であるから、この卒業を以って終わりとはならない、再入学した。

2015年3月の卒業式における学長式辞の中で「今年度の最高齢の卒業者は北海道学習センター所属の97才の方である」と述べられ、また2017年3月、学長特別表彰を受けた式場では文部科学大臣の祝辞の中にも同様のことが述べられていた。

ところが、残っているテーマは、今迄敬遠して来たものに加えて、寄る年波による能力低下をヒシヒシと感じつつ、残る単位の消化には、今迄経験したことの無い苦勞そのものがあった。



昨年の東京での卒業式会場で交わした「來生学長」との約束もあり、その負担は、従来にない重いものであった。

その重圧が大きかっただけに、今回の喜びは、実に大きかった。

今、記録を整理しながら、他からの援助と励ましの大きさと貴さを膚に感じつつ、卒業式を迎えたのがうれしかった。

《情報コース》
音更町 坂本 春恵

私は1回目の卒業と同時に放送大学北海道同窓会に入会させて頂きました。今回は卒業生であり同窓生として「情報コース」を卒業させて頂きました。すでに学び直しのために「心理と教育コース」に編入学して卒業しました。その後の自己の健康を考え「生活と福祉コース」に学士入学し卒業しました。

今回の「情報コース」の学習では、最新の技術の発達と知識に四苦八苦しました。数十年前東京の大学付属の専門学校で修得した映像や通信の学びは陳腐化していました。でも技術者魂だけはいまでも不滅です。

また思い切って「社会と産業コース」へ学士入学の手続きを取りました。このコースは教科が多いので無理なく楽しく学んでいきたいと考えています。

最近嬉しかったことがあります。今年1月十勝管内の町議会選挙で放送大卒の議員さんが誕生しました。経歴欄の放送大学卒業の文字が躍っていました。知人の放送大学生の方も「新聞で見たよ 先輩頑張っているね」と喜んでいました。たしか放送大学北海道同窓会の仲間であると思います。活躍する卒業生に拍手をおくります。



《人間と文化コース》
北海道樺戸郡 金山 美保子



人間と文化コースに再入学してからの4年間、相次いで実家の父、そして同居している主人の父と母の介護が始まり、私なりにできるだけのことをし、見送ることが

できました。

大学は、卒業証書をいただけるような深い学習はまったくできませんでしたが、休学をはさみながら、なんとかここまですることができました。

やめないで続けてきて本当に良かったと思っています。コツコツと続けることが大事ですね。



所長講演会・平成31(2019)年度定期総会開催

5月18日(土)午後1時30分から「人間とは何か」という問いについて一定義問題に即して一と題して新田所長の講演会を開催し25名ほど熱心に聴講しました。講演会終了後、15時から放送大学北海道同窓会定期総会を開催しました。

会長挨拶の後、新田所長から挨拶があり、柴田事務長からの祝辞がありました。その後、榊原会員が会員からの葉書で近況を数名報告しました。続いて、鈴木一雄幹事が同窓会会則第12条第1・2項に基づき会員235名・出席者16名・欠席委任状94名で総会は適正に成立したと報告しました。宮崎副会長が議長に選出され議事に入りました。

第1号～第3号議案(平成30年度事業報告・会計収支決算報告・会計監査報告)、第4号～第5号議案(平成31年度事業計画案・会計収支予算案)について、いずれも承認可決されました。

すべての議事の審議を終了し散会しました。その後いつものあの店で親睦会を開催。15名参加でお酒も入り、和気あいあい。放送大学の絆を確認し合いました。

※なお、定期総会資料につきましては別添といたしました。



新役員の抱負

及川 博征 幹事

このたび新役員を仰せつかりました及川博征と申します。

同窓会発足時から役員として活動された皆様には、同窓会の年間活動計画から実施まで、また会議資料や会報の作成等、様々な業務を行っていただいたことに心から敬意と感謝を申し上げます。

さて、私は、平成 29 年 9 月卒業致しました。

卒業まで長い年月がかかり、「よく卒業できたな。」というのが率直な思いです。

大学では、社会と産業コースを選択し、多くの知識を得ることができました。特に、大学の講義（面接授業）では、毎回興味深い講義を受けることができ、有意義な時間を過ごすことができました。

入学したものの仕事の関係で全道各地を異動することとなり、面接授業も受けられず、休学を余儀なくされた時期もありましたが、何としても卒業したいという強い気持ちで頑張った成果として卒業できたことは、素直に嬉しいと感じています。

今年度の役員として、会長や副会長等役員の皆様に補佐し、できる限り会の運営に協力し、会員の皆様によりよい情報をお伝えしたいと考えております。

末永くこの同窓会組織が続きますよう会員各位のご支援、ご協力も併せてお願い申し上げます。



新役員の抱負

同窓会役員に推薦されまして・・・

川崎 功男 幹事

この度富田先生をはじめ現職役員の皆さまの熱心なお誘いを受け、同窓会役員をおおせつかることになりました。この春卒業とともに同窓会に加入した新参加者ですが、諸先輩の皆さまに少しでも楽しい同窓会になるよう、はなはだ僣越ではございますが微力ながら務めさせていただきます。

「放送大学同窓会連合会
平成 31 年度（第 22 回）通常総会」報告

放送大学北海道同窓会

会長 宮崎新吾



5月25日と26日の両日、千葉市美浜区の放送大学本部で開催された「放送大学連合会の通常総会」に出席しましたので、その模様を報告いたします。連合会は全国にある放送大学同窓会の連合会組織で、大学本部との情報交換や全国の同窓会の橋渡し役などを担っている組織です。会議は、総会から始まり、検討会、懇親会を実施し、翌日は情報交換会を行いました。

総会では、通常の議案のほか「役員の変更」が審議され、石川同窓会の北野敏夫氏が副会長に選任され、「同窓会連合会の最大のイベントである「卒業・修了祝賀パーティ」の担当として、皆様の協力を得ながら取り組んで行く所存ですので、よろしく願いします」と挨拶をされました。体調不良で副会長を辞任された石和健治氏（熊本）にかわり、九州・沖縄地区からも連合会の代表役員を選出してほしいと出席者から意見がありました。

検討会では放送大学の岡田副学長から、231ch、232chと二チャンネル化された放送大学のこれからについてご講演をいただき、続いて、各地区から地区交流会の活動報告がありました。

懇親会では、岡田副学長、池田副学長及び松本学務部長も最後までご出席いただき、これからの大学の運営や同窓会として協力できることや要望など忌憚なくお話しすることができました。

翌日の検討会では全国の同窓会から、学生のユニークな活動などの報告があり、大変有意義な2日間の会議を終えました。

これからも、全国の動向を北海道同窓会の活動に生かせるよう努力してまいります

〈放送大学同窓会連合会の総会の様子(2019.5.26)〉



第 17 回 放送大学研究発表会

記念講演：「環境の保全と再生：なぜ、またどこまで水環境を保全し、再生するか？」

講師 放送大学理事・副学長

岡田 光正 氏

【講演の概要】 日本の水環境は、かつての公害といわれた時代と比べればかなり回復してきた。しかし、昔のような美しい水環境に戻ったといえるか？そもそも、美しい水環境とはどのようなものか？美しいだけで良いのか？魚をはじめとする多様な生物が生息する豊かな水環境や生態系を取り戻す必要があるのでは？

劣化した環境を望ましい状態に戻し、それを守っていくには大変な努力が必要である。では、多大な努力を払ってでも取り戻すべき望ましい環境とはどのようなものか？そもそも、なぜ取り戻さなければいけないのか？

これまで、日本の水環境の望ましい状態は、環境基本法により「水質環境基準」として定められてきた。しかし、水質とは何か？水質で望ましい環境を定義することができるのか？

ここでは、環境の望ましい状態をどのように定義し、またなぜその保全と再生が必要か、水環境を例として考えてみたい。

放送大学 研究発表

発表 1 テーマ 「感情の共感を高める心理教育プログラムが中学生の自尊感情に及ぼす効果の検討」

放送大学教養学部 心理と教育コース

小林 勝則 氏

発表 2 テーマ 「美容室の隠れた効用」—美容室利用による気分の肯定的変化と積極性の向上—

放送大学教養学部 心理と教育コース 卒業

小原 木聖 氏

発表 3 テーマ 「量子場の理論と自発的対称性の破れ」

北海道大学理学院 修士課程 物理学専攻

川谷 維摩 氏

日 時： 2019 年 10 月 12 日(土) 受付 12:30 開始 13:00-17:00

会 場：放送大学北海道学習センター6F 大講義室 札幌市北区北 17 条西 8 丁目北大構内

主 催：第 17 回放送大学研究発表会実行委員会 共 催：放送大学北海道学習センター

後 援：北海道教育委員会・札幌市教育委員会 連携：道民カレッジ連携講座

参加費：無料、誰でも参加出来ます。(道民カレッジ生は手帳を持参下さい。 4 単位)

問合せ先：e-mail tomi-2.7.2@jcom.home.ne.jp FAX:011-642-2389 電話 090-2058-4453



連載

加藤 栄 (名誉会員) の
自分史回想

第2回

学位記授与式



4、＜ 小学校卒業後 ＞

小学校を卒業すれば、多くの友人は、家業の農業の作業労働力として自家に残り、人手を必要としない家の男子は、町場の商店等へ丁稚(デッチ)奉公に出るか、大工、カジヤに住み込み奉公して、手に職を付け、将来独立することを選ぶ。女子の場合も自家(農業)の手伝いやその他家事手伝いとして自家に残るか口べらしのため、他町村へ女中、子守りなど奉公に行った。それ以外に、自立を図る途としては小学校教員の試験を受けて教員になるなど、鉄道員や郵便局員となるには講習所へ入り、官吏となる途を選んだ。この外軍隊に志願して軍人となる途も、当時ははじまっている。

私の場合も、札幌の菓種問屋への奉公の話もあったが、健康に自信がなく気が向かずに家の商店の手伝いをしながら、上級学校への進学をあきらめられず、早稲田大学中学講義録

で、専検(専門学校入学者資格検定試験で現在の大検)を目指して、独学をはじめた。

そんな折、地元の産業組合長が「遊んでいるのなら組合の事務を手伝ってほしい」との話があって、父親に言われるまま、この途を選んだ。仕事は店番、倉庫での荷物の受入、事務所でのお茶汲みなど、当時いう「給仕(きゅうじ)」という雑用係であった。休日は月2回(1・15日)いわゆる職人休日である。給料は月末に白米1表(60kg・時価7~8円)をリヤカーに積んで帰り、母から1円位のこづかいをもらうという具合で、昔の下級武士並で、禄高(年俸)は5石扶持(白米4斗×12=4石8斗)というものであった。米価は日々変動するので俸給も変動したことになる。これが半年続き1月から月俸13円となった。従業員は、職員3~4名で私は5番目位の地位だった。

昭和10年、18歳の時、札幌で「産業組合長期講習会」(2か月間)が仕事についての初めて学習であった。20才以上という年齢制限のある処へ、モグリ込んだ為、理解度は充分でなかったが、今後学ぶ上での手ほどきとして、後々まで役立った。同期は20歳から40歳ぐらいまでの実務経験者50名で、その後、大いに教えを受けた。

この講習で得たものは、道内各地に散在する先輩を得て、これから学ぶ方向、方法、手段などであった。

その後、東京の出版社から刊行された「産業組合全書(全15巻)」は少し高度なものであったが、他に代わるものが無いので購入した。「協同組合原論」(近藤康男著)などは、以後も名著と言われたものであった。

その頃、北海道庁の会計検査があった。それ等には全く関係のない若造だったから、何故だかわからないが「少し他人の飯を食った方が良い」と言われたことが、次の進展への大きな火種となった。

5、< 武者修行(上湧別町組合への転職)>

今迄は、「一つの組合に終身勤務しなければならない」と思っていたが、先日の「他人の飯」が発火点になり、全く見ず知らずの土地（オホーツク沿岸の農村）に勤務することに決断したのは、昭和11年、19歳の時であった。

土地勘もなく、知人も居ない。話を進めてくれた人が「加藤は若いが何でも出来る」と誇大宣伝しておいてくれたが、本人にとっては全く迷惑な話であった。最初にこの話は誇大宣伝であると云うことを明言出来なかった私の苦行の始まりであった。

その為、わからない事にブツカルと、そのことは明日までに解決すると言う、出来ないことに会ったらそれは翌朝までにそれを解決すること、より外に途は無かった。

それはサツク訪れた。二桁の割算、当時電卓などは無く算盤で行う。小学校で「二一天作の五」という割り九九による方法を習った。二桁も習ったはずだが、それは実行するまでのものに成っていなかった。当日は筆算で済ませ、帰宅して、持参した書籍を探したら珠算の教科書があった。これにより、何とか二桁の割算はモノにした。続けて項をめくると乗算についても、いろいろな算法を挙げ、その優劣を論じている。これに依ると、私の現在行っている算法は非効率的だとあった。「そうか、この際」とすぐれた算法なるものへの宗旨替えをして朝までに、これを我が物にした。この様にして、又一改めることが出来た。

こうして恥をかかずに、なんでも出来る人間を作り上げることが出来、以後この調子で努力を続けることをモットーとした。

以下同様、知らない土地への外人力士(?)であり、周りは皆地元出身者ばかり。相撲を取ればキワドイ勝負では100%地元力士に軍配が挙がる。この他者不利を打ち破るには絶対有力を勝ち取る他途はなかった。仲間のうちで若い者(時には年上もいた)を集めて、産業組合の講義・就労などの技能について話し合いをし、希望者に夜、講義する機会を作り、実行した。はじめは集まりが良くなかったが、その後増加した。このような努力により2年ほどしたら、外国人が日本人に変わった。

6、< 国内留学(江東消費組合)>

20歳のとき、東京の「江東消費組合(組合長架川豊彦)」へ2ヶ月ほど勉強に出かける機会に恵まれた。初めての上京である。上野駅に到着後タクシーに乗って組合に到着。山岸晟主事にお会いして客分として、先ず「第一栄養食配給所」に配属され、炊事作業のお手伝いを約半日させられた。この間、隣にあったYMCAで夜間開講される「日本協同組合学校」で協同組合論など勉強した。講師は一流人の安部磯雄先生から、社会主義の話聞いた外、経済学の話は早稲田大学教授から、その他、文学の話など著名人の講義を聞いた。

その後、現在、スカイツリーの建っている江東区押上の配給所に転属。自転車で組合員宅を訪問し、御用聞き、配達を実習した。給料は1歳当り1円が相場で私は20円もらい、食費5円でこの時、親元に10円程送金した。徴兵検査で帰ったが、今にして思えば、良い経験をしたと思っている。これが協同組合員としての志を決めたのだと思う。

上湧別組合に戻り、若い仲間を稽古台にして勉強を続け、「職場」に共通の資格試験で初級程度に合格。その後、道内最初の課長クラスの第1回試験で幸に道内ただ一人の合格者となり自信をつけた。周囲の見る目も変わった。これをキッカケに業界紙に投稿したりして、勉強している奴が居るぞと注目されて、近辺組合の指導的立場になり、夏休みに北海道へ研究に来る大学の先生方にも、あれこれ教えられる機会を得た。

こうして、ヨソ者がいつの間にか「土地者」に昇格した。上湧別こそ私を脱皮させてくれた土地であり、他人の飯の御かげだった。その後、産業組合は農業協同組合と変わった。その指導機関である「指導連」からお呼びが掛り、14年間お世話になった上湧別町から指導者の一人として転出することになったのは朝鮮戦争が始まった年であった。

7、< 農業組合監査士 >

農林省の肝いりで、農協組織の自主監査制度を創設することになり、「農協監査技能者試験」なるものが設けられてその試験が行われた。試験科目は農業協同組合論、農協関係法、農業簿記、会計学、農協監査論等で、各府県で一次試験が行われ、二次試験は東京で実施された。組合指導を担当する者としては、絶対必要な資格である。第一次試験は筆記試験で大学教授、農林省の担当者が試験委員である。苦勞して第一次試験は通過できた。次の二次試験では冷や汗をかきながら夕方ようやく解放され、試験場を後にした処「北海道の加藤さん！」と呼びかけてきた人が居た。仲間は既に帰った。知り合いは居ないはずだ。呼び止めたのは業界紙の編集長だった。「今、受付で加藤さんが今出ていったと聞き追掛けてきた」という。もちろん初対面である。「紙面上では知っている。話というのは、帰ったら『試験の合格記』を送れ」と云う話である。とんでもない話である。断ったが通じない。押し切られて言うとおりに書き上げ投稿し、雑誌に掲載された。

翌々月の3月、札幌の本部へ転勤となり「教育課長」を命ぜられた。その後道内各地で農協役員、職員の皆さんにお話する機会に恵まれた。

・・・会報35号に続く

加藤栄名誉会員 ! 今年3月101歳で4回目のご卒業おめでとうございます。

加 藤 栄さん !!

あなたはいつも私たち同窓会員や学友のみならず日本中の人たちに夢と希望を与え、何よりもみんなに元気と勇気を与え続けています。

これからも私たちは 加藤さん!! あなたの背中を追いかけていきます。

そしてあなたを誇りにして学んで行きます。

お元気で先頭を走ってください。

北海道同窓会員

第5回 紙上同窓会

1

放送大学北海道同窓会 節目の設立 15 周年 おめでとうございます。

心ばかりの物を用意いたしました。若い頃切手集めが趣味で、シートで買っていました。

中学、高校と援農（農業のアルバイト）一日働いて 800 円もらっては、切手を買っていました。放送大学同窓会の通信費の足しになればと思います。

あの頃団塊の世代の私は、朝ドラの『なつぞら』の如くでありまして、十勝晴れのもと、農家のアルバイトに汗を流しておりました。

時には 逆子の子牛の出産で、足にロープを巻き付け、引っ張り出す場面にも遭遇したこともあります。

なつかしい場面を思い出しました。大学には行けず、55 歳になり放送大学に入り 60 歳で 124 単位取得、同窓会の一員になることができました。

同窓会長はじめ役員の方々のご苦労は大変なものがあるかと思いますが、同窓会運営よろしく願いいたします。

中川郡幕別町 吉田会員

盛会をねがっています。

音更町 坂本会員

毎日仕事と母の介護、町内会のこと、市民後見人とあわただしい日々を送っています。早く総会や親睦会に出席できたらいいなと思っています。役員の方々いつもありがとうございます。

帯広市 富原会員

37 歳で卒業し、しばらく仕事と育児を優先させ、止まっていた勉強を、あと 4 年で 50 歳なので、そろそろ再開したいです。

北斗市 高橋会員

熱中するものを持っている人「人生」の詰まっている人、人生を高める隠し味の持っている素敵な出会いに出席できないのが残念です。

中川郡幕別町 澤口会員

現在、認定心理士の資格を申請中です。卒業後、仕事をするには年齢が高すぎて就職はないと思うので、ボランティアで心理に関係するものを見つけたいと思っています。

函館市 小川会員

役員の方々いつもありがとうございます。 札幌市西区 小田島会員

役員の皆様ごくろう様です。 岩見沢市栗沢町 二階堂会員

出札の機会がなく欠席します。 野付郡別海町 清水会員

ご案内ありがとうございます。他の行事と重複のため欠席いたします。年会費、過日終身の会費として振り込みました。ご確認下さい。盛会をお祈りいたします。

北広島市 佐藤会員

日常生活そのものが学習と思いつつ日々過ごしております。

札幌市厚別区 谷川会員

元気です。まだ学生を続けており、今年で10年目になります

札幌市北区 遠藤会員

最近特に記憶力・全般的体力も劣化して来ており、日常生活に支障が出ない様時間を見て散歩するように心掛けていますが、計画通り実行出来ないでいます。

北広島市 松下会員

心理と教育のコースへ入学しました。

室蘭市 小田会員

皆様お元気ですね！ 私も行きたいですが、交通の面と少し遠いかなーと思う年になりました。せめて札幌駅あたりならすぐに出られるかなと思っている令和の一人言です。

江別市 岩岡会員

現在、新聞配達員をしています。深夜午前2時50分に新聞店に行き、朝刊を受け取り配達する仕事です。

室蘭市 田尾会員

平成天皇の退位までは生きていたいと訴える姉に、寄りそう日々を送っています。幸いにも令和の年を迎えることができました。助けてくださいました医師・看護師の方々に感謝しています。

札幌市中央区 金加会員

同窓会事務の皆様、いつもお世話下さりどうもありがとうございます。
感謝致しております。

札幌市 早坂会員

終身会員の件大変助かります。
ありがとうございます。

札幌市 小澤会員

面接授業が5月18日、19日とありますので疲れを用心して欠席します。
皆さん楽しくお過ごし下さい。

札幌市 榎本会員

母親の介護中です。会の御盛会をお祈り申し上げます。

札幌市 小田会員

70歳になった2日後に肺がんの手術を受けました。
6月術後半の精密検査を受けます。
リスクの多い高齢者として静かに過ごすしかありません。

札幌市 阿部会員

再入学しております。

札幌市 加瀬会員

平成29年8月に2回に分けて、腰の大きい手術をして北大整形外科で、背柱にチタンという金属が入っており、昨年2月に病院を退院して、2月末日より訪問リハビリ（週2回で月・金）で行って杖歩行訓練中で、満82歳になり、同窓会「てんとう虫」は楽しく読んでいます。同窓会のご繁栄をお祈り致します。

札幌市 田中会員

旅行と重なり欠席となります。ご了承下さい。
当方変わりなく元気で過ごしております。

札幌市 本間会員

プラスチックの海ゴミが世界的に問題視され始め、私が20年間活動してきた海浜美化運動に風が吹いてきました。企業がマスメディアと手を組んで私達のボランティアに支援しようとの動きが活発になってきました。

先日の浜美化でちょっとよろけたら学生に「おばちゃん大丈夫?」と言われショックでしたが、年上の学友には「ハナタレ小僧だ」と言われていますので、色々な風を受け止め地球のためにこれからも頑張ります。

札幌市 中根会員

卒業後は緊張の糸も切れ何事にも気が浮かない日々です。卒業設計の皆さんは、気力充実のため何をされているのか、聞いてみたいです。

江別市 及川会員

去年は、現役として、面接授業に2回参加させていただきました。

北見市 溝井会員

現在、(大学院修士 M2) で、情報学プログラムにて、学んでおります。当日、Webゼミがあり、途中での参加となります。よろしくお願ひします。

札幌市手稲区 大橋会員

安全を考えて、酒席は遠慮することにしました。皆さまによろしくお伝えください。

札幌市南区 加藤会員

最近のフェイクニュースの何と多いことか。

ネットフェイクに振り回されない為には、自分の視点を持つことが大切。改めて歴史を勉強する意義を感じました。今年は新しい課題に向かって学習して行きたいと思ひます。

札幌市中央区 榊原会員

いつも同窓会活動が活発で頼もしく思ひます。

益々のご発展を祈っています。

札幌市西区 長谷部会員

6月に高校で教育実習に入ります。

とある大学通信制に教職編入(英語)しました。

理科免許欲しいのですが、拡大に教職課程があれば是非取りたいです。

群馬県藤岡市 古矢会員

同窓会報編集委員から

紙上同窓会は平成 31 年度定期総会会員連絡欄を抜粋して掲載しました。ご連絡をくださった会員の皆様本当にありがとうございました。

名誉会員加藤栄さんの発案で始めた紙上同窓会も 5 回目を迎えました。会員の皆様のご感想はいかがでしたか？ 紙上同窓会ですから学びのお悩み等お困りの会員にアドバイスもお願いします。また、生活の知恵やワンポイントアドバイスなど放送大学で知り得た知識や経験からもお手紙などをお寄せくださいね。私の健康法など。皆様からのお便りが無ければ続けていけませんので、どしどし近況などをお知らせください。また、返信はがきは定期総会をご案内する時に同封しますが、メール、FAX や郵便などいつでも受け付けています。また、皆様のご協力をお願いします。その他、ご意見なども受け付けております。宜しくお願い申し上げます。



第 11 回文化祭のお知らせ

日 時 9 月 12 日(木)から 15 日(日)

場 所 放送大学北海道学習センター5 階 6 階

講演会：14 日(土) 13:00 開始

演 題：超高齢社会—どこで誰と生きる？

講 師：片桐 由喜氏

(小樽商科大学教授 放送大学北海道学習センター客員教授)

講演会終了後

学生サークル発表 演芸：落語・手品・朗読・音楽など(予定)

映画会(ドイツ映画) 9 月 13 日(金)14:00~17:00

展 示 12 日(火)展示物搬入~15 日(日)展示物搬出迄 6 階廊下

*展示物、発表、演芸出演者、バザー品を募集しています。

同窓生の皆さん!お誘いあわせの上、参加して下さいね

第 11 回文化祭実行委員会 実行委員長 熊谷 憲次

連絡先 090-7519-7432

バザー

9 月 14 日

12 時開催

お待ちしております

います

私の人生の最初の記憶

第1回

幼い頃の記憶

杉山 東樹

人生最初の記憶は函館の家のトイレである。しかも和式の大便所。それは私が3-4歳の時だったと思う。というのは私は昭和8年札幌生まれだが、父の転勤で函館へ行って昭和10年に妹が生まれているので。

この記憶には大変な違和感が伴っているが、何が原因であったのか思い出せない。その違和感が後のおねしょにつながるのだが、その理由も分からない。フロイト先生にでも分析して貰うしかないと思う。

次の記憶は2年後の豊橋（愛知県）に飛ぶ。

鉄道関連会社（私鉄・豊川鉄道→後にJR飯田線）に勤める父の転勤により昭和12年に次の妹が豊橋で生まれている。

必死に近所の男の子と木製の塀によじ昇っており、板に出ている釘やコールタールの香りを覚えている。豊橋の思い出は他にもいろいろあるが、中でも一番大きいのは市街地街道に迷ったことだ。これも男の子と2人でこの先に何かあるのか歩いて行って帰れなくなった。どうして分かったのか父が迎えに来て、2人にキャラメルを買って来てくれた。

“迷子”の習癖は成人になっても直らず、どういふのか海外で現れ、ホノルルやミュンヘンでも幼い頃と同じ何ともいえない絶望感・違和感に襲われたのである。

「私の人生最初の記憶」原稿募集中！

さあ 最初の記憶を思い出してください。皆さんの頭の中にはあふれるほどのエピソードが詰まっています。パソコンのモニターに思い描いてください。そして、私達にも教えてくださいね。

〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目

放送大学北海道同窓会

携帯電話番号 090-2058-4453 中根 E-mail tomi-2.7.2@jcom.home.ne.jp

学生サークル紹介

パソコン学び隊隊員 募集中！

パソコンは持っているけれども、今ひとつ利用できていない・・・

そんな悩みを解決しませんか？

たとえば・・・年次の挨拶状を作りたい。簡単な家計簿を作りたい

・ システム WAKABA にアクセスしたいなどなど

放送大学在学学生なら誰でも隊員になれます

連絡先 メール:miyasabon@yahoo.co.jp

電話番号: 080-5585-3416 島田

学生サークル紹介

うたの会

代表 中根 恵美子

うたの会は、ローライ、花、紅葉など愛唱歌を楽しむ学生サークルです。

放送大学学歌や北海道放生賛歌、蛍の光・歓喜の歌なども歌い、英語・ドイツ語など原語でも歌います。プロの先生がピアノ伴奏で教えてくれます。うたの会の目的：豊かな人生の糧として、歌を通して広い文化活動を楽しみます。

入会を、お待ちしております

同窓会の社会貢献コーナー

5月12日石狩市
浜益区川下海岸へ

NPO 法人北海道海浜美化を進める会主催、協力大学3校と札幌市民57名も含め参加人数100名のうち、放送大学生参加3名で海岸清掃をしました。どこまでも続く青い空、北の大地に一気に咲き誇る花々と行楽日和の中、開会式が終わると一斉に海岸へエントリーしました。今年の小学生参加はカブスカウト11名など少なく、大学生の参加も少ないかつてない状況でしたが、少数精鋭で、海岸線を1列に並びゴミを拾いました。年を追うごとにプラスチックゴミの大きさが小さくなり回収しにくくなっています。プラスチックの砂状態になる日はもうすぐ。この会は20年間年2回この浜益海岸を清掃していますが、事業者へ依頼し砂の整地もして居ますが、その際重機などに押しつぶされ粉々になるのではないかと推測しています。とにかく人海戦術で細かいプラスチックを回収しました。活動時間が足りません。閉会式後の昼食は石狩市職員がボランティアで豚汁づくり。美味しくいただきました。その後、浜益温泉で汗を流し活動の感想文などを書きながら帰路につきました。



図書貸し出しサービスの停止について

2019年4月以降、本部附属図書館の指示により、学習センター配架図書の貸出ができなくなりました。在学生などから図書を貸し出してもらいたいと嘆願書が事務室に寄せられているとのことで、北海道同窓会役員会でも問題として取り上げ、検討してまいります。

また、某幹事からは「各々学習センターに置かれている図書館の本の貸し出しが、今年度から、本部貸出しになっています。(群馬、埼玉、東京文京、神奈川除く)、センターでは、学習センター扱いの方法に戻してほしいと、学生の嘆願書を募っています。北海道同窓会としても、現状を確認し、話し合いが必要かと思えます。いかがでしょうか？次回役員会で議題として取り上げてはどうですか？」との意見があり検討することにしました。

会費納入と新入会員募集のお願い

平成 31(2019)年度の継続会員の方は、今年度の年会費 1,000 円を下記口座へお振込み下さる様ご協力をお願いします。

また、同窓生の中で同窓会に入会していない方がおられましたら、入会をおすすめくださるようお願いいたします。

入会を希望される方は、郵便振替用紙に「氏名、住所、電話番号、卒業年月、専攻」をご記入の上、入会金 1,000 円、年会費（初年度）1,000 円を下記口座へご送金ください。（次年度以降は年会費のみとなります。）

郵便口座名 放送大学北海道同窓会
口座番号 02740-0-37725

「会員の声・読者の声」募集中！

現在、会員や読者の皆さんの声を募集しております。皆さんの近況や会報へのご感想、ご意見がございましたら、是非、お寄せください。

〒060-0817 札幌市北区北 17 条西 8 丁目
放送大学北海道学習センター内
放送大学北海道同窓会
学習センター事務室内ポストに
直接投函可

FAX 番号 011-642-2389 中根

E-mail tomi-2.7.2@jcom.home.ne.jp

URL : <http://hhdoso.sakura.ne.jp>

新入会員のご紹介！！（敬称略・順不同）

平成 30 年度後期卒業生

(人) 曾川 樹 (心) 小川 恵美子
(自) 川崎 功男 (生) 佐藤 千絵
() 若林 照男 () 梅田 邦子
() 佐藤 眞由美 (心) 竹内 享子
(心) 岩瀬 聡子 (心) 鈴木 美和子
〒・住所・電話番号などの変更のときは、
必ず、ご連絡をお願いいたします。

放送大学を宣伝してください！

皆さんの『ロコミ』で、放送大学に入学して良かったと思うことを、大勢の方々に知らせてください。

入学等に関する問合せ先

放送大学北海道学習センター

TEL 011-736-6318

編集後記

先日、放送大学の同窓会の全国組織である、同窓会連合会の総会に参加してまいりました。放送大学の学生は、インターネットによる講義や印刷教材を使用するの自宅学習が中心となり、どうしても学生相互や学習センターとの交流が希薄になりがちです。そのような環境でも学生間やセンターとの交流を図る機会を提供するため、北海道同窓会では、会報の発行や卒業・修了を祝う会の実施、あるいは、研究発表会や文化祭の運営を通じて交流の場を提供できるよう努力しております。先の同窓会連合会総会では、全国の同窓会の活動やアイデアを聞かせてもらい、今後の北海道同窓会運営に役立てて、大いに交流を図りたいと思います。

まずは、10月12日（土）に実施の研究発表会で皆さんとともに学び、ともに楽しみたいと思います。